

# 世界と戦え。

早朝の平塚海岸。ボードに乗った少年が波の上で華麗なターンを決めると、朝日に照らされた水しぶきが、宙にきらめきます。スキムボーダーとして世界で戦う山下夏海<sup>なつみ</sup>さんは、将来を期待される平塚出身のアスリートの1人です。今号では、世界を舞台に戦う平塚ゆかりのアスリートを紹介します。

目次

1～4面…**特集** 世界で戦うアスリートたち…世界を舞台に戦う、平塚ゆかりの3人のアスリートの活躍を紹介します。

5～7面…お知らせ・募集・健康と福祉「みんなの力」

8面…ヒラツカルチャー「MOTTO図書館」

ひらつか  
議会だより

平塚市の人口と世帯数  
<令和2年1月1日現在( )内は前月比>

人口 257,713人…(-13)  
世帯数 112,394世帯…(+41)



# 世界で戦うアスリートたち

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催まで、残すところ約半年。昨年のラグビーワールドカップの熱狂も記憶に新しいいま、国を背負って戦うアスリートたちへ注がれる視線は熱い。平塚にも、鍛え抜いた自身の肉体を頼りに世界の舞台で活躍するアスリートがいる——。  
問 スポーツ課☎31-3060

## 世界の荒波を乗りこなせ

スキムボードというスポーツを知っているだろうか。サーフィンより少し短めの、長さ1・3メートルほどのボードを持って海へ走り、タイミングよくボードに飛び乗り、波打ち際を滑走。その中でターンなどの技を繰り返す人気急上昇中のマリンスポーツだ。

### 波と向き合う毎日

このスキムボードを武器に世界の舞台で活躍する選手がいる。山下夏海、中学2年生。本場米国の国際大会で優勝した実績もある、スキムボード界では名の知れた存在だ。

山下の実績に目を付けたスキムボードショップから「米国で開かれる世界大会のジュニア部門に出ないか」という打診があり、出場することになったのだ。

## 世界の舞台へ挑む

たのは、必然だったのだろう。真さんは10年ほど前に大きな手術を経験してから海に入ることはやめてしまったが、今でも常に息子の練習に付き合っている。アドバイスを送っている。父の薫陶を受けた山下は、幼少期から数々の国内大会に出場して好成績を残し、小学生になると、国内のジュニアではほぼ敵なしの存在になった。そして、小学校5年生の時、大きな転機が訪れる。

### 平塚の海は聖地

スキムボードの全日本選手権は毎年、平塚で開催されている。世界の名だたるビーチと比べても遜色ない波が立つ平塚の海が、国内のスキムボードの間で聖地と呼ばれるほど評価されているためだ。このビーチの魅力にひかれ、平塚に移住してくるスキムボーダーもいるという。

### 聖地を背負って

「聖地と言われていますが、国内のトップ選手には実は神奈川県出身の選手があまりいません。夏海には、聖地・平塚出身として日本を代表する選手になってもらいたい」とは父、真さんの言。本人も当然そのつもりだ。「まずは今年、全日本選手権のプロクラスに出場して優勝したい」と思っています。最終的には世界のプロクラスで通用する選手になりたいと意気込む山下は、同時に「多くの人を引き付けるプレーをして、スキムボードの魅力を広め、メジャーなスポーツに押し上げた」と、スキムボード界全体を盛り上げたいという思いも語ってくれた。



父、真さんと波の状況を話し合う山下。常に親子二人三脚で競技に臨んでいる



水面からジャンプして回転。多彩なアクションを楽しめるのもスキムボードの魅力の一つだ

## Natsumi Yamashita

国内での競技人口はおおよそ4000人とまだまだマイナースポーツの域を出ないスキムボード。開催される大会の規模も小さく、山下と同年代の選手もごくわずかだ。そんな環境で競技に取り組んできた山下にとって、世界大会の舞台が与えたインパクトは強烈だった。世界各国のトップ選手が参加し、自分と同年代でうまい選手がごろごろいる。日本とは比べ物にならない大会の規模にも驚かされた。そして、この大会で見事に優勝を勝ち取った山下は「自分の力は世界でも通用する」という大きな自信を得た。同時に「プロになって世界の舞台でもっと活躍したい」と新たな目標を得るきっかけに



スキムボード 山下夏海

2005年7月8日生まれ、14歳。市内高浜台在住。幼少期から数々の大会に出場し、ジュニア世代ではほぼ敵なし。近年は国際大会でも優秀な成績を残す。主な戦績に、オクトーバーフェスト2018(米国で開催された世界大会)アマチュアクラス優勝、2018年全日本スキムボード選手権オープンクラス優勝、など。

スキムボードの聖地・平塚出身の選手として今後、ますます活躍の舞台を広げようとしている山下夏海。彼の活躍から今後も目が離せない。

# 心の中の「好き」を武器に

テニス界最高峰の舞台、グランドスラム。全豪・全米・全仏オープンに英国のウィンブルドン、世界で最も権威ある四大大会の総称だ。

2018年6月10日、フランス、パリ。赤土のセンターコートの上に穂積絵莉は立っていた。全仏オープン女子ダブルス決勝。テニス選手なら誰もが憧れるグランドスラム決勝の舞台に立った彼女の心に、不思議と緊張はなかった。

「とにかくテニスが好き。テニスが好き。幼いころに抱いた純粋な思い。穂積を常に突き動かし、プロの世界で走り続ける原動力にもなっているその思いは、選手として最高の舞台に立つても変わることはなかった。

「とにかくテニスが好き。テニスが好き。幼いころに抱いた純粋な思い。穂積を常に突き動かし、プロの世界で走り続ける原動力にもなっているその思いは、選手として最高の舞台に立つても変わることはなかった。

## テニス一家の一人娘

1994年2月17日、市内花水台でテニス好きな両親の一人娘として生を受けた。物心つく前からコートと一緒に出掛け、幼い頃から家族のプレーを間近で見ている穂積は、テニスの世界へ自然と導かれていった。小学校1年生の頃に家族が休日に通うことの多かった湘南平テニスクラブのスクールに入会。入会から1年後には、選手コースの

ある茅ヶ崎市のパームインターナショナルテニスアカデミーに籍を移すことになる。同アカデミーに入校後は、数々の大会に出場し、めきめきと力をつけていった。そんな彼女がテニスを職業にしたのと思ったのは、高校生の頃のことだった。

海外の大会にも出場することが多くなり、1年生の時に初めて全豪オープンのジュニア部門に出場する。これまで出場したどの大会とも違う会場の雰囲気と熱気。世界最高峰の舞台に魅了された穂積は「もつとこういう場所です。プロの道で強烈に意識するようになった。プロへの転向は2012年1月1日、高校卒業を目前に控えた17歳の時だ。プロになることへの不安はなかった。大好きなテニスで生活し

ていけるのは最高だなんて。テニスがとにかく大好きな彼女らしい考え方だ。とはいえ、プロのテニス選手は、とても過酷な職業だ。11月は大会があるオンシーズン。12月は主要な大会が開かれないため、オフにする選手が多いが、逆に言えば、この1カ月しかオフがないため、次のシーズンに向けての調整に費やす期間にもなる。穂積も完全にテニスから切り離された休みを取るのには、年間で1週間ほどしかない。

## プロテニスプレイヤー 穂積絵莉



1994年2月17日生まれ、25歳。市内花水台出身。幼少期にテニスを始め、2012年にプロに転向。主な戦績に2013年全日本選手権シングルス優勝、2017年全豪オープンダブルスベスト4、2018年全仏オープンダブルス準優勝など。2016年のリオデジャネイロオリンピックには日本代表として出場している。

「プロの道で強烈に意識するようになった。プロへの転向は2012年1月1日、高校卒業を目前に控えた17歳の時だ。プロになることへの不安はなかった。大好きなテニスで生活し

ていけるのは最高だなんて。テニスがとにかく大好きな彼女らしい考え方だ。とはいえ、プロのテニス選手は、とても過酷な職業だ。11月は大会があるオンシーズン。12月は主要な大会が開かれないため、オフにする選手が多いが、逆に言えば、この1カ月しかオフがないため、次のシーズンに向けての調整に費やす期間にもなる。穂積も完全にテニスから切り離された休みを取るのには、年間で1週間ほどしかない。

シーズン中は毎週のように各国で試合があり、世界中を転戦。遠征にかかる費用は全て選手の負担だ。そして、コート上では常に孤独な戦いを強いられる。どんな時も自分一人で考え、勝負しなければならぬ。プロテニス選手は、肉体的にも精神的にも、われ

われには想像がつかないくらい厳しい世界で日々戦っているのだ。そんな世界に飛び込んだ穂積だが、プロ転向後は順調に実績を積み重ねていく。そして、一躍世間から注目を浴びたのが、2017年の全豪オープンだ。ダブルスでベスト4進出を果たし、日本テニス界に大きなインパクトを与えた。さらに翌年、大きな快挙を達成することになる。

## 迎えた最高の舞台

全仏オープンのダブルス。同じ年の二宮真琴とペアを組み、初戦から危なげない戦いで勝ち進むと、準々決勝では第1シードの強豪ペアを破る。そして、その勢いに乗って決勝に進出したのだ。日本人選手同士のペアによるグランドスラム決勝進出は史上初の快挙。日本中が日本人ペアの戴冠へ向け、期待に胸を膨らませた。万感の思いを胸に試合に臨んだ穂積だったが、結果は力及ばずストレート負け。準優勝に終わった。だが、決勝の舞台に立てたの

## Eri Hozumi



ヨネックス提供

日本人としては体格に恵まれ、外国人選手を相手にしてもパワーで打ち負けることがない。穂積の大きな強みの一つだ

## その先を見据えて

は素晴らしい経験でした。次は必ず優勝したい」と彼女が下を向くことはなかった。全豪・全仏と続けて好成績を収めたが、本人によると内容は全く違ったのだという。「全豪の時は全然地に足が着いていない気がして、『あれ、いけちゃうかもな』って感じ

着実にステップアップしているかに見えた穂積だが、一昨年、昨年は苦しい戦いが続いた。大坂なおみをはじめとした若い世代が次々と台頭し、テニス界全体のレベルが上がっていき、徐々に勝つのが難しくなり、世界ランキングの順位は下がっていった。

## 顔を上げ未来へ

テニスを好きだったんだと、改めて気付かされました。

「テニス人生で初めてと言ってもいい壁に直面した穂積だったが、年が明け、視線はもう未来へと向けられていた。『つらかったですけど、テニスが好きでモチベーションを再認識できたし、メンタル的にもすごく成長できました。今年も、シングルの順位を上げて、ダブルスではグランドスラムで優勝したい』と力強い。

昨年4月には肘を故障。6月から1カ月半ほどは治療に専念するため、試合に出られなくなった。テニスを始めてから、これほど長い期間ラケットを握らないのは初めての経験だった。「テニスができないと思ったら、自然と涙が流れてきて。自分がこんなにもテ

オフには平塚で過ごす時間も大切にしている。一昨年は、帰省に合わせてテニス教室も開いた



オフには平塚で過ごす時間も大切にしている。一昨年は、帰省に合わせてテニス教室も開いた

穂積がここまで走り続けてきたのは、テニスを「好き」という気持ちが一歩大きくなったからだ。「好き」という気持ちにはものすごいエネルギーがあると思うので、とにかく自分の好きなことを見つけていくのが大事。そのためにいろいろなことにチャレンジしています」と、穂積は未来ある子どもたちへ向けメッセージを送る。

平塚で生まれ育ち、心に抱いた「好き」の気持ちを武器に世界で戦い続ける等身大のテニス少女の挑戦は、まだ始まったばかりだ。

## 次ページでも アスリートを紹介

# 自分の限界を超え続ける

横を向いてスタートを告げるピストルを見つめる。フラッシュが光ったのを確認し、勢いよく水中に飛び込む。その先に広がるのは、音のない透明な世界だ。耳が聞こえるか聞こえないかは関係ない、ただ己の力が試される場所。後はゴールに向かってひたすら泳ぐだけ。これまでの自分を超越するために。

## 生まれつきの障がい

茨隆太郎。東京都江戸川区に、男3人兄弟の次男として生まれた彼は、生まれつき耳が聞こえない先天性の感音性難聴だった。そんな茨に両親は「強く、丈夫な子に育ってほしい」との思いから、水泳を習わせた。

水泳は、はっきりとタイムが出るスポーツだ。いかなれば今の自分の限界が数字として明確に表れる。だからこそ、練習を重ねて、これまでの自己ベストを超えた時、努力が形になったことを実感できる。そんな楽しみに茨はひかれ、水泳を続けてきた。

とはいえ、始めたきっかけは両親からの薦めだ。茨自身は、ずっと水泳を続けていきたいというほど、強い気持ちで初めから持っていたわけではなかった。しかし、小学校6年生の時にその気持ちを大きく変える出来事が起こった。

た。通っていたろう学校の先生から、デフリンピックで日本人が金メダルを取ったという話を聞いたのだ。

## 憧れの舞台

デフリンピックとは、4年に一度開かれる聴覚障がい者が競い合う世界大会。聴覚障がいがあるアスリートにとって最高峰の舞台だ。幼い時から健常者と一緒の大会に参加してきた茨が、デフリンピックの存在を初めて知ったのがこの時だった。自分と同じ境遇の人たちと競い合ってみた

い。自分の心の中に強い思いが芽生えるのを感じた。自ら水泳に取り組もうと固く決意した瞬間だった。

真摯に競技に取り組み続けた茨は、高校1年生にして、早くも目標としてきたデフリンピックに出場することになった。競技は200メートル背泳ぎ。憧れの舞台に立つことができ、この場にいられるだけで満足だったが、予選では、自己ベストを2秒縮めて2位に入った。「頑張ればメダルに手が届くかもしれない」。そんな思いが頭をかすめた。迎えた決勝。気合十分だったが、スター

トでいきなりつまずいた。蹴り足が滑り、大きく後れをとってしまったのだ。「やばい、やばい」。焦りの気持ちが強くなったが「もともと自分には失うものは何もない。こうなったら後は全力で自分の泳ぎをするだけだ」と開き直って泳ぎ切った。ゴールして、水面から顔を上げると、周りには誰もいなかった。

## 挫 折から学ぶ

一気にトップスイマーへの道を踏み出した茨は、高校を卒業すると、平塚市内の東海大学へ進学。水泳の強豪校に入り、さらなる飛躍を遂げる準備が整ったはずだった。

しかし、高校までろう学校で育った茨にとって、大学生活は全く勝手の違う世界だった。これまでは手話を使うのが当たり前で、耳が聞こえないことにそれほど不便を感じたことはなかった。「本当の意味で『聞こえない自分』というものを理解できていなかったのだと思います」。茨は当時をそう振り返る。水泳部の上下関係は厳しく、1年生には練習前の雑務などの仕事がある。ところが、茨は上級生の指示をうまく理解できず、失敗を重ねた。ろう学校という環境で育ってきたために、健常者である周りの部員との接し方やコミュニケーションの取り方が分からなかった。「分からないことは、同級

生とか周りに聞けば良かったんです。でも、あの頃の僕にはそれができなかった。「耳が聞こえないからしょうがない」と障がいを理由に逃げていた自分がいました」。この頃はまさにどん底にいた。孤独感にさいなまれ、水泳をやめたいとさえ思った。練習にも身が入らず、大会に出ても当然結果は芳しくない。

自分の殻に閉じこもった茨を変えたのはある同級生の一言葉だった。「障がいがあるとかないとかは関係ない。俺はお前のことを、茨隆太郎という、一人の人間として見ている」。障がいのことを一番気にして

## どん底からの再起

このままじゃいけない。さっそく水泳部の仲間を集め、ありのままを伝えた。「自分はこういうことはできるけど、こういうことはできない。みんなのサポートが欲しい」。自分をさらけ出し、仲間たちと初めて本当のコミュニケーションをとった。

そんな茨に周囲は温かかった。練習内容をホワイトボードに書き出し、簡単な手話も覚えてくれた。日常のたわいなやりとりも増え、徐々に信頼関係を築いていった。比例するように成績も上がり、さらに仲間との絆は強くなっていった。競技に集中できる環境が整い、再び水泳に全力で取り組むようになった茨。その後の快進撃はすさまじい。2017年のデフリンピック



デフ水泳  
茨隆太郎

1994年2月14日生まれ、25歳。東京都江戸川区出身、平塚市内在住。先天性感音性難聴により、生まれつき両耳の聴力が弱いが、両親の薦め3歳から水泳を始める。2017年デフリンピックで6個のメダルを獲得、2019年世界ろう者水泳選手権では、200メートル・400メートル個人メドレーで優勝するなど、数々の大会で優秀な成績を残す。

クで6個のメダルを獲得。2019年8月にブラジルで開かれた世界ろう者水泳選手権では、200メートルと400メートル個人メドレーで優勝した。さらに、同年9月のジャパンパラ水泳では、50メートルバタフライで日本新記録を樹立した。

## さらに先の世界へ

現在の茨は、東海大学の大学院を経て、SMBC日興証券にアスリート社員として在籍している。練習の拠点は変わらず大学のプールで、後輩の部員と一緒に、毎日、朝夕の練習で精力的に汗を流している。

現在25歳の茨の目標は、年齢的にも脂の乗りきる来年に開かれるデフリンピックで世

界新記録を出し、金メダルを取ることだ。さらに、茨にはもう一つ、闘志を燃やす目標がある。今年4月に開かれる日本選手権に出場することだ。国内の大会では規模が一番大きく、オリンピックの選考レースにもなっている同選手権。日本のトップスイマーが集うこの大会に聴覚障がいがある選手が出場したのは過去に2回だけで、困難な道のりなのは間違いない。それでも、得意としている200メートルメドレーの自己ベストは参加標準記録まで、あと1秒半ほどに迫っている。

強気の泳ぎで日本の水泳界を引っ張る茨の活躍は、障がいがある子どもたちにとって、大きな希望の星だ。茨は最後に、子どもたちにこんなメッセージを送った。「障がいを抱えていると、周りの人よりできることが少ないかもしれない。でも、自分のできること、好きなことを見つけ、いちずに続けていくことができれば、自分らしく生き生きと輝くことができると思っています」。



得意種目の個人メドレーの中でも、茨が得意としているのがバタフライだ

## Ryutaro Ibara



# 募集

応募方法は5面

## 市自転車活用推進計画(素案)にご意見を

自転車の走行・駐輪環境の整備や、ルール・マナーの啓発などに取り組み、まちの活性化につながる自転車活用を推進するための計画です。

素案の内容は、2月28日(金)まで、本館6階の交通政策課や各公民館、各図書館、市ウェブなどで閲覧できます。

意見・必要事項(団体の場合は団体名・代表者名も)を、郵送・ファクス・メールまたは直接、本館6階の交通政策課 ☎21-9840 FAX0120-704589(ksai@)へ。

## 廃棄物対策審議会の委員

ごみの減量化や資源化などの施策を審議します。

任期は4月1日から2年間。次の条件を全て満たす方2人(選考)。①市内に1年以上

上在住②4月1日現在、高校生を除く18〜75歳③市のほかの付属機関などの委員ではない④過去に同委員の経験がない⑤年4回程度、平日に開く会議に出席できるーなど。

本館5階の環境政策課 ☎21-9762 FAX21-9603や各公民館、市ウェブなどにある申込書を、郵送・ファクスまたは直接、2月7日(金)〜3月6日(金)に、同課へ。

## 文化・歴史講座

土曜日。午後2時〜3時40分。旧横浜ゴム平塚製造所記念館。各40人(先着順)。

命のビザ 杉原千畝とその周辺 第二次世界大戦中の昭和15年にリトアニアでユダヤ人にビザを発給し、ナチスドイツの迫害から6000人余りを救った杉原千畝とその時代のことを話します。3月7日。平塚空襲について 平塚に壊

滅的な被害をもたらした昭和20年7月16日の空襲が、地域の歴史にどのような影響を与えたのかを話します。14日。

必要事項・講座名を、はがき・ファクス・メールで、2月8日(土)から、社会教育課 ☎35-8124 FAX34-5522(ksai@)へ。

## 八幡山の洋館 遊館日

2月19日(水)。旧横浜ゴム平塚製造所記念館。先着順。カイロプラクティックによる健康講座 午前10時〜正午。10人。

Poco a Poco 歌とピアノ春よ来いコンサート 午後2時〜3時。60人。

電話または直接、2月8日(土)午前9時から、旧横浜ゴム平塚製造所記念館 ☎35-7114へ。

## 農業を体験しませんか

露地・ハウス農家の草取りや収穫、畜産農家の畜舎清掃

# 公民館まつりに行こう

各公民館で、公民館学習の活動成果や市民活動の事例を発表するほか、作品展示や芸能発表、模擬店などの催しをします。開催時間やイベントの内容など、詳しくは各公民館にある公民館だよりをご覧ください。

問 中央公民館 ☎34-2111または各地区公民館へ。

| 日程                      | 会場                            |
|-------------------------|-------------------------------|
| 2月15日(土)・16日(日)         | 岡崎                            |
| 2月21日(金)・22日(土)・23日(祝)  | 須賀                            |
| 2月22日(土)・23日(祝)         | 松原・花水・大野・松が丘・横内・旭北            |
| 2月23日(祝)・29日(土)・3月1日(日) | 四之宮                           |
| 2月29日(土)・3月1日(日)        | 崇善・富士見・なでしこ・大原・神田・城島・金目・金田・吉沢 |
| 2月29日(土)・3月7日(土)・8日(日)  | 八幡                            |
| 3月1日(日)・7日(土)・8日(日)     | 豊田                            |
| 3月7日(土)・8日(日)           | 中原・大神・土屋・旭南                   |
| 3月14日(土)・15日(日)         | 南原                            |

# ひらつか名産品リレー

産業振興課 ☎21-9758

## 湘南タコス

とうもろこし粉から作る皮と、酸味・甘み・辛みが調和したソースが絶品です。平塚産のキュウリとトマトを使っています。

レストラン サンミッシェル(宝町9-1-101星和平塚宝町ハイツ) ☎67-6540



## 事務職はじめて講座

事務職として働くために、最低限マスターしておくべきことを話します。2月13日(木)午後1時30分〜4時30分。勤労会館。15〜39歳の仕事を探している方12人(先着順)。

## 人材確保セミナー

企業の人材確保を支援するセミナーです。火曜日。午後1時30分〜3時30分。本館3階302会議室。

クラウドソーシングを活用した働き方改革セミナー 3月10日。

女性・外国人の採用セミナー 17日。

市ウェブなどにある申込書を、郵送・ファクス・メールまたは直接、2月7日(金)

## コミュニケーションボランティア活動マッチング交流会

さまざまなボランティア活動を紹介している市民活動団体が、ボランティアの楽しさや魅力を話します。2月26日(水)午後1時30分

## 馬入水辺の楽校 お散歩バーディング

北国の野鳥が南下してくる季節に、ベテランのバードウオッチャーが案内します。3月1日(日)午前9時30分〜午後0時30分。雨天中止。

相模川河川敷の馬入水辺の楽校風車前に集合。小学生以上の方20人(先着順・小学生は保護者同伴)。ノート・筆記用具・お持ちの方は双眼鏡。500円。

全員が必要事項・年齢を、

## 湘南ひらつか囲碁級位認定大会

3月8日(日)午前9時15分〜午後3時。勤労会館。県内在住の級位者。2500円、高校生以下1200円。

必要事項・年齢・現在の級位を、はがきで、2月20日(木)までに、〒254-0045見附町31-10まちづくり財団文化事業課 ☎32-2237へ。同財団ウェブからも申し込みます。

## 少年少女マラソン大会の参加者

ShonanBMWスタジアム平塚と総合公園の園路、

# ガイドと巡る平塚の文化資源「中世の真田城址」コース



北金目神社本殿は市指定重要文化財です

真田神社や塚越古墳などを巡り、北金目神社では拝殿に上がって見学します。

2月23日(祝)午前9時30分〜午後0時30分。約4時間。荒天中止。神奈中「北金目入口」バス停に集合。小学生以下は保護者同伴。スリッパまたは厚手の靴下など。300円、中学生以下は無料。

全員の必要事項・コース名を、はがき・ファクス・メールで、2月16日(日)までに、社会教育課 ☎35-8124 FAX34-5522(ksai@)へ。

# みんなの力

発明で特許権を取得  
吉沢小学校6年生  
守田 貴一郎さん

## 日常のひらめきを発明に

「お母さんの手伝いで洗濯物を取り込んだ後、洗濯バサミを上手にしまう方法を考えていたら、ひらめきました」と話す、守田貴一郎さん。守田さんが考案した「洗たくバサミまとめるくん」は、厚紙と竹ひご、クリアファイルを加工した装置で、上部から竹ひごに洗濯バサミを通すと自然に向きが整うよう工夫された優れたもの。一昨年の市児童生徒創意くふう展で市長賞を獲得し、同展の審査員長の勧めで特許権を出願。昨年11月15日に見事、特許権登録されました。

小学生の特許権取得は珍しく、守田さんは「特許を取得できて、本当にうれしかったです。今後も生活の中でのひらめきを、発明に変えていきます」と思いを語ってくれました。



# 弱視レンズなどの体験展示会

各種ルーペ・単眼鏡・遮光眼鏡・拡大読書器などを展示します。展示物を実際に体験することもできます。  
2月13日(木)午後2時～4時。平塚盲学校(追分10-1)。  
☎ 平塚盲学校 ☎31-1341



## 健康推進員と一緒に歩こう 体験ウォーキング教室

基本の歩き方を学び、野外で体験ウォーキングをします。  
3月10日(火)午後1時30分～3時。雨天時は屋内でウォーキングをします。保健センター。市内在住・在勤の方。タオル・帽子・飲み物・お持ちの方は歩数計。動きやすい服装と靴でお越しください。  
☎ 健康課 ☎55-2111

## 市民健康づくり推進協議会 の公募委員を募集

任期は5月1日から2年間。次の条件を全て満たす方2人以上(選考)。  
①市内に1年以上在住  
②5月1日現在、

## 健康と福祉

応募方法は5面

を走ります。  
3月7日(土)午前8時～8時30分に、ShonanBMWスタジアム平塚正面玄関で受け付け。荒天中止。市内在住・在学の小学校5年生～中学生。飲み物。動きやすい服装と履き慣れた運動靴でお越しください。  
☎ 市ウェブや各小・中学校本館7階のスポーツ課 ☎31-3060などにある申込書を、郵送または直接、2月17日(月)までに、同課へ。

18～75歳③年1回程度、平日の昼間に開く会議に出席できる④市のほかの付属機関の委員ではない⑤過去に同委員の経験がない⑥過去に同委員の各公民館や保健センターなどにあるチラシや市ウェブをご覧ください。  
☎ 各公民館や ☎254-0082 東豊田48-3 健康課 ☎55-2111 ☎Kenko ☎55-2139  
⑦などにある申込書を、郵送、ファクス・メールまたは直接、2月7日(金)～3月6日(金)に、同課へ。

## シニア向け就労支援セミナー・個別相談会

ハローワークの職員が話します。高齢者雇用に積極的な

家族介護教室  
ロコモ体操を体験します。  
3月5日(木)午前10時30分～正午。直心館中西道場(北金目1-9-17)。福祉・介護事業所の関係者を除く、市内在住の要介護者を介護している方ら20人(先着順・10人に満たない場合は中止)。飲み物・タオル。  
☎ 電話で、2月10日(月)から、午前10時～午後9時に、直心館中西道場 ☎090-2908-7674へ。

## 赤十字健康生活支援講習 支援員の養成講習

健康増進や、高齢者に起こりやすい事故の予防・手当介護の知識・技術などを学びます。検定試験があります。  
3月14日(土)・15日(日)、全2回、午前9時30分～午後

## 家族介護リフレッシュ

市内在住で家族を介護している方。先着順。  
①2月17日(月)。福祉会館  
②午前9時30分～午後0時30分。12人  
③1時30分～4時30分。9人  
④19日(水)午前9時30分～午後0時30分。西部福祉会館(公所86)。9人。  
☎ 電話で、福祉会館 ☎33-3100へ。

企業や生きがい事業団の紹介と、参加企業などの個別相談会もします。  
3月12日(木)午後1時30分～4時。美術館。市内在住の60歳以上の方40人(先着順)。  
☎ 電話で、2月10日(月)午前9時から、高齢福祉課 ☎21-9622へ。

## 県障がい者スポーツ大会

4月12日～7月5日の日曜日。競技はフライングディスク・ボウリング・アーチェリー・陸上・水泳。  
各競技の日程や場所、申し込み締切日など、詳しくは市ウェブをご覧ください。お問い合わせください。  
☎ 電話または直接、本館1階の障がい福祉課 ☎21-8774へ。

## 高齢者住まい探し相談会

賃貸住宅を探している高齢者に、相談員がアドバイスします。  
2月20日(木)午後1時30分～4時。福祉会館。5人(先着順)。  
☎ 電話で、かながわ住まい・まちづくり協会 ☎045-664-6896へ。

## 男性の男性性による男性のための料理教室

調理デビューのきっかけにしませんか。  
3月10日(火)午前10時～午後2時。福祉会館。市内在住の60歳以上で、料理初心者の方16人(先着順)。エプロン・三角巾・布巾・タオル・筆記用具。600円。  
☎ 電話または直接、2月7日(金)から、福祉会館 ☎33-2333へ。

## 市民相談

### 市民相談室

- ☎市民情報・相談課 ☎21-8764
- ◇市民生活 月～金曜日、午前8時30分～正午・午後1時～5時
- ◇法律(予約制) 水・木曜日、午後1時～4時
- ◇行政 3月2日(月)午後1時～4時
- ◇税務(予約制) 2月28日(金)午後1時～4時
- ◇登記・供託(予約制) 2月14日(金)午後1時～4時
- ◇測量・境界(予約制) 2月14日(金)午後1時～3時
- ◇多重債務(予約制) 2月18日(火)午後1時～4時
- ◇許認可各種届出(予約制) 3月3日(火)午後1時～4時
- ◇不動産(予約制) 2月21日(金)、3月6日(金)、午後1時～4時

- ◇住宅(新築・リフォーム) 2月18日(火)午後1時～4時
- ◇外国籍市民相談 ☎文化・交流課 ☎25-2520
- ◇来所 13言語。対応言語や日時は市ウェブをご覧ください。
- ◇教育相談・就学相談 子ども教育相談センター 崇善小学校北側 ☎36-6013
- ◇来所(予約制) 月～金曜日、午前10時～午後5時
- ◇電話 月～金曜日、午前9時～午後5時
- ◇青少年相談室 青少年会館 ☎34-7311
- ◇青少年相談 火～土曜日、午前10時～午後6時30分
- ◇ヤングテレホン相談(青少年専用) ☎33-7830
- ◇ヤングメール相談(青少年専用) ☎y-soudan@

- ◇ヘルスアップ相談 保健センター ☎55-2111
- ◇来所(予約制) 2月14日(金)・26日(水)、午後1時～3時
- ◇高齢者健康相談 ☎地域包括ケア推進課 ☎20-8217
- ◇来所(予約制) 月～金曜日、午前9時30分～正午・午後1時30分～5時
- ◇成年後見利用支援センター 栗原ホーム ☎35-6175
- ◇来所・電話 月～金曜日、午前9時～正午・午後1時～5時
- ◇くらしサポート相談 ☎くらしサポート相談 ☎21-8813
- ◇来所・電話 月～金曜日、午前8時30分～午後5時
- ◇保健福祉総合相談 ☎福祉総務課 ☎21-8779
- ◇来所・電話 月～金曜日、午前8時30分～午後5時

- ◇障がいがある方の相談 ☎障がい福祉課 ☎21-8774
- ◇手話案内 ☎21-1213
- ◇来所 月～金曜日、午前8時30分～午後5時
- ◇精神保健福祉相談(予約制) 月～金曜日、午前8時30分～午後5時
- ◇人権相談 ☎人権・男女共同参画課 ☎21-9861
- ◇来所 2月18日(火)、3月3日(火)、午後1時～3時
- ◇女性のための相談 ☎人権・男女共同参画課 ☎21-9611(相談専用)
- ◇来所・電話 月～金曜日、午前9時30分～午後4時
- ◇子どもの総合相談 ☎子ども家庭課 ☎21-9843
- ◇子ども総合相談 月～金曜日、午前8時30分～午後5時
- ◇母子・父子相談 月～金曜

- 日、午前10時15分～午後5時
- ◇子ども発達支援室くれよん ☎子ども家庭課 ☎32-2738
- ◇子どもの発達相談(来所・予約制) 月～金曜日、午前8時30分～午後5時
- ◇子育て支援センター 豊田分庁舎 ☎34-9076
- ◇未就学児対象の子育て相談・情報提供 月～金曜日、午前10時～午後3時
- ◇消費生活センター ☎市民情報・相談課 ☎21-7530(相談専用)
- ◇来所・電話 月～金曜日、午前9時30分～午後4時
- ◇ビジネス相談 ☎産業振興課 ☎21-9758
- ◇発明・考案・特許(予約制) 2月17日(月)午後1時～4時
- ◇就労(予約制・先着4人・1人50分) 2月12日(水)・26日(水)、午後1時～4時50分



必要事項 郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・メールで応募する場合は [hiratsuka-city.hiratsuka@kanagawa.jp](mailto:hiratsuka-city.hiratsuka@kanagawa.jp) を付けてください。

### 博物館

〒254-0041 浅間町12-41  
☎33-5111 ㊟31-3949  
㊟10-17-25 3月2日

■郷土史入門講座 富士噴火と地震 2月23日(祝)午前10時30分～正午。講堂。50人(当日先着順)。

■プラネタリウムの投影 各50分。70人(当日先着順)。200円。18歳未満と65歳以上の方は無料です。65歳以上の方は年齢の分かる保険証などをお持ちください。

☆ゆりかごから墓場まで 星の一生をめぐる 2月8日(3月1日の土・日曜日、午前11時と午後2時。2月8日・22日は午後2時の回のみ)。  
☆幼児向け番組 すいせいゴエモンのぼうけん 2月8日・22日の土曜日、午前11時。☆特別番組 星空散歩 2月3月に見られる天文現象を解説します。2月29日(土)午後3時30分。  
■江戸く昭和のおひなさま&

### 博物館 文化祭を楽しみませんか

博物館のワーキンググループの活動成果を発表します。また、20回目の開催を記念し、写真やポスターでこれまでの文化祭の歩みを振り返ります。  
展示 2月8日(土)～24日(休)。特別展示室。  
活動報告会 16日(日)午後1時～4時20分。講堂。  
天体観望会実演 太陽黒点を見よう 望遠鏡で太陽を投影し、黒点を観察します。16日午前10時～正午。雨天曇天中止。屋上。  
㊟ 博物館 ☎33-5111

### 中央図書館

〒254-0041 浅間町12-41  
☎31-0415 ㊟31-9984  
㊟10-17-25 3月2日

■中央図書館特集展示 科学を考える 2月29日(土)まで。2階貸出室。

■臨時休館 中央図書館は2月12日(水)～20日(木)、西図書館は27日(木)～3月3日(火)、南図書館は5日(木)～10日(火)に、館内整理のため休館します。

■ブックスタート 午前10時～11時30分。市内在住の1歳未満の子どもと保護者。①2月12日(水)北図書館(田村3-12-5) ②29日(土)中央図書館 ③3月8日(日)中央図書館 ④11日(水)金田公民館(入

野108-1) ⑤18日(水)南図書館(袖ヶ浜20-1)。  
☎ 電話または図書館ウェブで、中央図書館へ。  
■中央図書館 映画会 子ども向けのアニメを上映します。日曜日・祝日、午後2時から。3階ホール。①2月9日。チップとデール ②23日。リトルモンスター11・わらくつの中の神様 ③3月1日。瓜つこ姫とアマンジャク・ぶんぶくちやがま。

### 美術館

〒254-0073 西八幡1-3-3  
☎35-2111 ㊟35-2741  
㊟10-17-25 3月2日

■冬の所蔵品展 パフォーマンスする絵画 2月24日(休)まで。200円、高校生・大学生100円。  
■ギャラリートーク 9日(日)午後2時～2時30分。展示室。観覧券が必要です。

■2月のおしゃべり美術館 冬の所蔵品展を話しながら鑑賞します。2月16日(日)午前11時～正午。展示室。小学生以上の方20人(当日先着順)。観覧券が必要です。  
■市民アートギャラリー 2月11日(祝)～16日(日)大磯絵画同好会作品展。12日(水)～16日全国公募団体IAC美術会湘南支部工芸展。18日(火)～24日(休)二人展 心の庭。19日(水)～24日有雅陶展。



### ひらつか市民合唱祭

学生から大人のコーラスグループまで、市内で活動するさまざまな団体が日ごろの練習の成果を披露します。

3月1日(日)、第1部は午前10時、第2部は午後1時30分に開演。中央公民館。

㊟ まちづくり財団文化事業課 ☎32-2237

### 美術館 ロビー展

## 糸賀英恵展

### うつろいのかたち

金属を金づちで打って形を変えていく「鍛金」の技法で作られた美しい作品を、ぜひご覧ください。4月5日(日)まで。テーマホール。

■関連事業 スズでバングルを作ろう 柔らかく加工しやすいスズを使って、オリジナルの腕輪を作ります。3月7日(土)。アトリエB。各8人(抽選)。1,000円。

①午前10時～11時。小・中学生(小学校3年生以下は保護者同伴) ②午後1時～2時。中学生を除く15歳以上の方。

☎ イベント名・実施日・必要事項・年齢(小学校3年生以下は保護者の名前も)を、はがき・メールで、2月20日(木)までに、美術館 ☎35-2111 ㊟art-museへ。

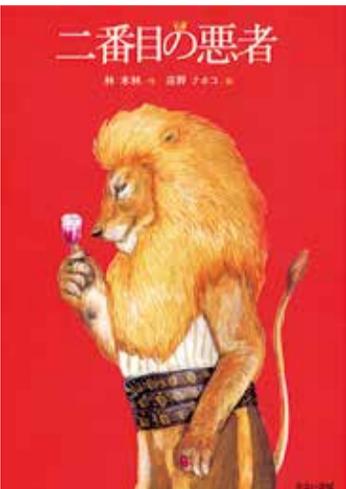


差し込む光の加減によって作品の表情が変わります

## MOTTO

### もっと図書館

はやしきりん 林木林作 庄野ナホコ絵  
「二番目の悪者」



小さい書房 平成26年 発行 南図書館所蔵

私たちの周りには、地域の話から世界の出来事まで、日々さまざまなニュースがあふれています。その媒体は、新聞・テレビだけではなく、インターネットやSNSも含まれます。このようなデジタル化時代の中、市民が必要な情報にアクセスできる環境を保障し、生涯学習の場を提供するのは、図書館の使命です。そして、情報をより分かりやすく、手軽に得られるよう手助けしていくことも大切な役割です。今回は、そんな「情報」にまつわる、身につまされるような物語の絵本を紹介します。

この物語は、次期の王様候補である銀のライオンをねたんだ金のライオンが言いふらす作り話によって、根も葉もないうわさが拡散していくというリアルな寓話です。

話です。中でも「うそは向こうから巧妙にやってくるが、真実は自らさがし求めなければ見つけれない」という雲のつぶやき声は心に突き刺さりませす。そして、「自分の目で何か一つでもたしかめたっけ?」という野ネズミのセリフには、自らに置き換えて考えさせられるものがあります。さて、王様になった金のライオンがもたらした結末とは……。

本書は、情報やうわさへのみにすることのリスクについて、シンプルに、かつ深く考えさせてくれます。皆さんも本書を手にとって、あらためて「真実」とは何かを見つめ直してみたいかがでしょうか。大人向けの絵本ですが、小学校高学年から読める作品になっています。

中央図書館 ☎31-0415